

緊急助成

「令和2年7月豪雨」で被災した子どもの学びや育ちの支援活動助成 審査結果のご報告

令和2年7月3日から7月31日までに熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨「令和2年7月豪雨」の緊急助成として、7月10日～9月30日に公募と審査を行い、応募のあった11件の事業の中から、合計8事業(8団体)に対して総額3,355,000円の助成を行ったことをご報告いたします。

【「令和2年7月豪雨」で被災した子どもの学びや育ちの支援活動助成の内容について】

「令和2年7月豪雨」の被災地域において、生活上の困難を抱える子どもや被災によるストレスや学習困難などを抱える子どもに対する支援について、募集を行いました。

◇募集要項:「令和2年7月豪雨」で被災した子どもの学びや育ちの支援活動助成

<https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/>

◇助成対象地域:熊本県、鹿児島県、福岡県、大分県、長野県、岐阜県、山形県

◇募集期間:2020年7月13日～9月30日の期間において、公募と随時審査(計7回実施)

◇助成対象期間:2020年7月4日～2021年1月31日

◇応募事業数:11事業

◇助成事業数:8事業

◇助成総額:3,355,000円

【今回の審査について】

コロナ禍で発生した今回の豪雨災害は、災害支援活動に加えて新型コロナウイルスの感染防止の対策も求められました。感染拡大防止の観点から、県外からのボランティア募集や様々な支援の受け入れをとりやめる地域も多くあり、地域で活動している団体からの申請が多くを占めました。

選考にあたっては、①被災した子どもたちの状況や課題が捉えられている、②活動内容が子どもの課題解決に有効である、③活動の緊急性が高い、④活動の実現性が高いなどの観点に加えて、⑤感染症対策を講じた活動内容であるかも重視しました。

被災地域が地元で、地域のニーズや課題を把握している団体が多く、上記の観点を押さえた支援活動計画が大半を占めたため、結果として採択率も高くなりました。

審査にあたった委員一同、本助成が有効に活用され、子どもたちの直面する困難が少しでも解消され、前に進むための一助になることを願っております。今回の助成先団体の成果に期待しています。

公益財団法人ベネッセこども基金 理事
選考委員長
耳塚寛明

「令和2年7月豪雨」で被災した子どもの学びや育ちの支援活動助成団体一覧

	団体名	所在地	申請事業名	活動地域	助成金額(円)
1	災害で生活が変わった子供を支援する会	広島県	八代市における子どもたちへの支援活動	熊本県八代市坂元町近郊	¥500,000
2	特定非営利活動法人熊本県子ども劇場連絡会	熊本県	令和2年7月人吉・八代豪雨災害文化支援事業 ~子どもたちに舞台を届けたい!~	熊本県人吉市・八代市及び隣接する町村	¥500,000
3	水俣芦北広域地域団体やまびこ	熊本県	子どもの心のケアに関するイベント	熊本県葦北郡	¥470,000
4	一般社団法人FUN&FIT	熊本県	八代市立八竜小学校放課後支援事業	熊本県八代市	¥210,000
5	特定非営利活動法人みさと	熊本県	森のちいさな図書館づくり(災害後の第3の居場所づくり)	熊本県葦北郡	¥500,000
6	特定非営利活動法人ITAL	熊本県	イベント『舎』リラックスできる癒しの空間と情報交換の場を提供	熊本県人吉市	¥290,000
7	特定非営利活動法人いるか	福岡県	熊本豪雨水害とコロナ禍におけるオンライン学習支援サポート提供事業	熊本県人吉市など	¥500,000
8	公益財団法人YMCA同盟	東京都	球磨郡多良木町・旧多良木高校避難所における、小中高校生を対象としたプログラミング体験	熊本県球磨郡多良木町	¥385,000